

風速 1.0 m/s  
～まず基礎から～

風ユニット  
古畑真啓

# 風ユニットの今年度の目標

## 風通しの良い場所を作る

仕事しやすい職場環境 入居者が住みやすい場所を求めて



- ・ 職員同士で話し合いやすく、助け合える雰囲気醸成
- ・ 業務内容や認識の共有による統一的なケアの提供

# 共通認識を形成するために

- ・ アンケートの実施

2020年度の各介助マニュアルを復習し、以下を質問

①改めて理解した事や疑問

②実際の場面で困っている事や要望

- ・ 新規入居者の情報共有

最初のMTで好み、動きの傾向や注意点、うまくいった方法などを共有

# 実際のアンケート

☆8月の施策 『入浴ケアについて復習をする』

①ブルーのファイルに関してある 「2020年度の入浴マニュアル」を読んで下さい。そして、あらためて理解した事、疑問を記入して下さい。

- 入浴開始前に衣類・ドライヤー・排泄用具・タオル等用意しておく。
- 当日の体言周を確言認する。バイタルの値が普段と違う場合は、Nsに入浴可能かを確言認する。
- 選べる方は利用者に聞きながら衣類を用意する。
- 入浴時は皮膚に異常がないか全身状態をチェックする。
- 処置がある方や皮膚に異常がある方は入浴後にNsに連絡をする。
- 手足の爪が伸びていないかチェックする。切りにくい場合はNsに連絡をする。
- 利用者の身体状態を考慮し入浴の形態を決定する。

②実際の入浴介助において、困っている事や要望を記入して下さい。

- 気が付くと手足の爪が伸びている方がいるので、なるべくこまめに切ってあげたい。
- あつしさん、車イスからリフトへの移動乗降時、かかえていますか？手すりにつかまって女ってもらっていますか？どちらもマイイキやりにくいです。いい方法があったら教えてください。

一番下のアンケート引き出しへ 8/31(火)までに提出

☆9月の施策 『食事介助について復習をする』

①ブルーのファイルに関してある 「2020年度の食事マニュアル」を読んで下さい。そして、あらためて理解した事、疑問を記入して下さい。

あらためて昼食への最終下膳時間や業務の都合上で行なせないこと、座りっぱなしはダメ長く座りっぱなしは疲れるので1人1人の座り姿勢をしっかりと頭の中に把握することも大切。

②実際の食事介助において、困っている事や要望を記入して下さい。

今のところありません。  
ヘルプに関しては多職種の方に気にかけて来てくれるので、とても助かります。

一番下のアンケート引き出しへ 9//30(木)までに提出

# アンケート結果 一部抜粋

## 【入浴】

- ・ 処置の有無が分かるようにしてほしい
- ・ リフトと車いす間の移乗が難しい人がいる。どうしてる？
- ・ 爪切りまでやる時間が取れない時がある
- ・ 脱いだ服が裏返っていることがある。皆で気を付けたい
- ・ 脱衣所、浴室の温度管理をちゃんとしたい

# アンケート結果 一部抜粋

## 【食事】

- ・ 配膳の順番はどうしてる？
- ・ 食事形態表の随時更新を忘れずにしたい
- ・ 時間がかかる人の切り上げ時に迷う
- ・ 現場職員だけでは介助の手が足りなくなっている
- ・ お茶が進まない人には配膳前でも声掛けや介助したい

# アンケート結果 一部抜粋

## 【排泄】

- ・尿意頻回の人に対し快く対応するのが難しい
- ・居室内のパット、おむつの補充も気を付けたい
- ・冬場は特に清拭の温度に気を付けたい
- ・従来型とユニット型で排泄のチェック法が違うのでは？
- ・ケアワーカー以外のヘルプでは排泄を頼めない

# アンケートを取って

## ○良かった点

- ・ 基本的な介助方法を全員で確認できた
- ・ 入浴後の処置が分かりやすいようにしてほしい  
→Nsと相談し入浴表に印を付けてもらうことになった

## ○改善点

- ・ 結果を共有し更なる話し合いにつなげることができなかった
- ・ 個々のやり方になってしまっている部分が明らかになった

# 来年度の介護課の方針を受けて

- ①基本を忘れず、ルールを守り相手の事を考え誠実な仕事をする。
- ②SDGsの取り組みの一つでもある環境のことを考えることで、現在行っている自分たちの業務を見直す。
- ③新たなICTの導入、福祉用具の活用をし、時代に乗り遅れない介護を提供する。
- ④職場環境を改善することで、職員が心のゆとりを持ち、心身共に健康であるように努める。

# 風ユニットの目標・取り組み

- ①基本を忘れず、ルールを守り相手の事を考え誠実な仕事をする。
  - ・マニュアルを復習することで基本に立ち返る
  - ・気付いたことを言い合える関係を築く
  
- ④職場環境を改善することで、職員が心のゆとりを持ち、心身共に健康であるように努める。
  - ・お互いに助けを求めやすいよう声を掛け合う
  - ・フロア内で要望や疑問をまとめて改善を図る

ご清聴ありがとうございました